26

26

関東上陸地支局

史実調査参考資料報告

昭和　年　月　日

項目	摘要
所属部隊(固有名) 全右	独立混成第四十四旅団 第二歩兵隊第三機関銃中隊 終戦時ノ名ヲ記ス
所在地	沖縄本島
職 官	第二小隊長 陸軍少尉
氏名	[redacted]
支那事変以降ニ於ケル自己ノ略歴	昭和十九年八月七日西部十七部隊ニ応召ス 職ノ変更及主ナル参加戦斗名ヲ記ス
所在部隊ノ編成年月日及編制装備ノ概要	昭和十九年九月十日編成 歩兵二箇大隊。 機関銃二箇中隊 聯隊本部。 聯隊砲中隊(一箇) 側射砲一箇中隊 最後ノ所属部隊ヲ主ニ之ニ尚ソノ以前ノ所属部隊ノ分ヲモ概記ス
所属部隊ノ作戦経過ノ概要 / 終戦(又ハ玉砕)ノ戦斗終了ノ状況	昭和二十年三月二十四日ヨリ連日ニ亘リ飛行機ニ依ル銃爆撃熾烈ヘ、仝年四月一日米軍本部半島ニ上陸(二箇師)スルヤ戦斗始マリ、十日頃ヨリ本格的戦斗開始ス。眞部山ノ西側(許田山)高地正面ニ九合目ニ位置シ敵ノ四〇〇米(指示ハ三百米ナリシガ地形ニ依リ)ニ近付クヲ待チ射撃セシニ敵ハ後退ス。二銃ヲ以テ右斜面ヨリ三ミリ利カセシ二銃ヲ以テ敵ニ当リタリ。此ノ戦斗ニ於テ分隊(第三分隊)長以下三名ノ戦死者ヲ出セリ之レハ爆撃ニ依ル。斯クシテ撃退スコト五日茲ニ於テ敵ハ重点ヲ味方ノ左側方ニ移行セシモノノ如ク同機ハ小隊方面ノ戦斗熾烈トナル。四時頃敵ハ其ノ陣地ヲ突破シ聯隊砲陣地ニ迫ル六時頃同陣地ハ馬乗リヲ喰ヒテオル最早敵ハ吾ガ北目後ヲ追ヒテオル協力中ノ村尾小銃小隊ハ連絡取リシモ時既ニ引揚ゲレ後ニテ孤立ニ陥ル、止ムナク中隊本部ニ引揚ゲ再起ヲ策スル十六日夜転進命令ニ依リ[illegible]ヨリ[illegible]ニ至ル[illegible]中ヲ突破不成功[illegible]戦斗ニ於テ第二大隊長戦死サル。四月二十五日敵ノ盛ナルトコロトナリ三度ノ[illegible]帰還[illegible]烈ナル攻撃ヲ受ク。上田小隊ノミ五中隊ニ配属ヲ命ゼラレ幾度カ戦斗ヲ交ヘ幸運ヲ得タリ。敵ヲ撃退スルコト二度、夜九時頃由ビ転進命令ニ接シ大宜味村内福地ニ移動シ爾後ノ戦斗ヲ策スル中ニ三度敵ノ攻撃ヲ受ケ五月二十九日(十二日)ニ三十名ノ損害アリ。茲ニ於テ日モ長ク持耐スルベク遊撃戦ニ転ズ。アチコチ小戦斗アリ。小隊ハ部隊ニ別レ小数ノ組トナリ再敵中ヲ突破シ本部半島ニ至ル。六月十三、四日ナラン。九月八日下山スルマデ負傷者ヲヤセ衰ヘニモ意気消沈セシコトナク機ヲ見テハ敵ヲ悩マシツツアリシモ既ニ弾丸モ尽キ兵器モ使用不能トナリ五人二三人ノ手榴弾アルモ手足ノ如クナラザリキ。九月八日勝リ中隊ヨリノ指示ヲ受ケ、出味ノ米軍側ニ出頭ス。 帰還ノ状況ヲモ併記ス
帰郷(又ハ連絡)ノ先	[redacted]
其他ノ参考事項	
備考	学校ニ記載セシメ第一復員省史実部ニ送付ス